

第一表

重要物資の国際比価 (31年3月末現在)

(注) 括弧内は前月比騰落

品 目	単位	区分	日本		米 国	英 国	そ の 他
			邦 貨 建	外 貨 建			
織 維	綿糸(20番手)	封度	¥ 206.3	¢ 57.3(+3.7)	¢ 69.0(0)	¢ 64.90(+0.25)	¢ 香港46.7(+0.7) 伊57.7(0)
	綿織物(2003)	M	192.6	53.5(0)			
		E	56.5	15.7(0)	17.25(0)		香港15.6(+0.4)
		M	56.2	15.6(-0.1)			
	人絹糸(ビス120D)	封度	247.0	68.6(+10.7)	83.0(0)	62.9(0)	伊 82.4(0)
	スフ糸(30番手)	M	167.8	46.6(+1.1)			
鉄 鋼	鉄鉄(鋳物用2号)	Q	25,000	\$ 69.4(0)	\$ 58.2(0)	\$ 45.2(0)	\$ ベルギー63.0(0) フランス55.2(0)
	棒鋼(19ミリ)	M	41,700	115.8(0)	102.5(0)	90.5(0)	ベルギー105.0(0) 西独89.7(0)
		E	44,000	122.2(-1.4)			
		M	44,280	123.0(-2.0)	113.0(+0.6)	113.7(0)	フランス108.0(0) 実勢115.0(+2.0)
	厚板(12ミリ)	Q	46,700	129.7(0)	99.6(0)	87.5(0)	西独 フランス ベルギー 109.5(0) 116.0(0) 115.0(0)
	薄板(1.6ミリ)	Q	45,700	151.9(0)	95.3(0)	96.3(0)	西独139.3(0) フランス142.8(0)
非鉄金属	電気銅	封度	Q 170~181	¢ 47.1(0)~50.4(0)	¢ 46.0(0)	¢	¢ ベルギー 49.1(+3.3)
	電気鉛	M	259	71.8(+7.5)	48.6(-2.9)	49.4(-3.0)	
	電気亜鉛	Q	64	17.9(0)	15.8(0)	14.9(-0.7)	メキシコ 14.5(-0.3)
	アルミ地金	Q	50~63	14.0(0)~17.4(0)	13.5(0)	12.4(-0.4)	メキシコ 12.0(-0.8)
	錫	Q	84~95	23.3(+0.6)~26.5(0)	24.4(0)~25.9(+1.5)	22.4(0)	カナダ 22.3(0)
		Q	381	105.9(-2.5)	99.3(-2.7)	97.5(-6.9)	シンガポール 93.1(-1.3)
窯業	セメント	M	7,250	\$ 20.1(-0.6)	\$ 21.0(0)~23.5(0)	\$	\$ 西独18.3(0) フランス15.8(0)
		E	6,300~6,840	17.5(0)~19.0(0)		14.0(0)	西独13.5(0)~14.5(0)
化学製品	硫酸(安)	屯	21,762	60.45(0)	51.0(0)	50.0(0)	西独51.0(0) イタ52.0(0) カナ54.0
	苛性ソーダ(固型)	M	42,500	118.1(+1.4)	85.0(0)	76.0(0)	西独51.0(0) リア52.0(0) ダ(-0.4)
	レーヨンパルプ	Q	78,814 ~79,916	218.9~222.0(0)	CIF 209.0(0)		カナダ CIF 200.0(0)
動植物製品	大豆原油	ドラム	M 28,000	77.8(-2.8)	60.2(+0.5)		
	生ゴム(RSS3号)	封度	M 109	¢ 30.3(-2.2)	¢ 30.5(-2.3)	¢ 31.9(-1.2)	¢ シンガポール 29.3(-1.3)
	原皮(牛)	M	77	21.3(-0.9)	17.0(+0.5) ~17.5(+1.0)		
燃料	石炭(粘結炭)	屯	M 6,750	\$ 18.8(0)	\$ FOB 12.3~12.5(0) C&F 28.0(+0.5)		

備 考

1. 区分欄、Qは建値、Mは市中価格、Eは輸出価格。

2. 織 維

- (1) 海外価格はロイター電等による。
- (2) 香港綿布は2003番相当のもの。
- (3) 人絹糸海外価格は150D価格を採用(我国での150Dの生産取引は僅少)。
- (4) 英国スフ糸は36番手単糸綿紡式によるもの。

3. 鉄 鋼

- (1) 日本のQ(生産者価格)は鉄鉄では富士製鉄4月積建値、鋼材では八幡製鉄5.6月積建値より全国平均運賃鉄鉄1,000円、鋼材1,300円を夫々差引いて算出。
- (2) 海外の鉄鉄は
・ベルギー 鋳物用高橋鉄ミュッソン(基準地)渡し
・フランス " ロンドイ() 渡し
・英 国 ページック鉄
- (3) 英国は公示価格よりわが国同様運賃を差引いて算出。
- (4) 米国は U.S. スチール社発表値。棒鋼輸出価格小口120.7ドル
- (5) 西独は公示価格から取引税4%を差引いた。
- (6) 厚板は米国、英国9~38ミリ、フランス加盟国9.5~25ミリ。ベルギーはトーマス鋼。

(7) 薄板は米国1.7ミリ、英国3ミリ以下、西独、フランスには寸法エキストラ夫々7.93ドル、7.31ドルを加算。

4. 非鉄金属

- (1) 非鉄の英国価格はアルミを除きロンドン取引所現物相場。
- (2) 電気銅国内建値の高値及びアルミの国内建値は精錬業者販売価格。
- (3) 亜鉛、アルミ国内建値の安値は輸出原料料向特価。
- (4) 電気鉛、亜鉛のメキシコ価格、錫のシンガポール価格はいずれも市中相場。

5. セメント

フランスは包装代を含まない。

6. 化学製品

- (1) 苛性ソーダはアンモニア法製品価格。
- (2) レーヨンパルプ国内価格は1~6月期建値。
海外価格は1~3月期CIF日本価格。

7. 動植物製品

- (1) 生ゴムの英相場はRSS1号。
- (2) 米国原皮銘柄バックカースライト紐着現物相場、国内相場は取引単位が枚数のため取替。

8. 燃 料

内外とも約8,000 cal 国内炭は本州特定製鋼所向30年度直売炭価。

第二表

海外価格を100とするわが国価格指数の推移

(注) 備考は第一表に準ず。卸売物価指数欄は昭和25年6月基準指数の比較。

品 目	区分	基 準 国	28年9月	29年9月	30年6月	30年9月	30年12月	31年1月	31年2月	31年3月
綿 糸	M	米 国	105.3	90.5	84.7	83.9	76.2	75.3	77.7	83.0
綿 織 物	M	"	102.5	86.2	83.6	84.8	87.0	95.0 ~95.1	91.0	91.0
人 絹 糸	M	イ タ リ ー	91.9	66.7	64.1	65.5	77.5	76.8	70.3	83.3
ス フ 糸	M	英 国	74.2	57.5	55.9	59.7	65.7	67.9	61.3	61.7
棒 鋼	Q	ベ ル ギ ー	117.2	89.4	102.0	108.6	108.6	110.3	110.3	110.3
厚 板	Q	西 独	107.1	91.2	101.3	108.3	108.3	118.4	118.4	118.4
電 気 銅	Q	米 国	135.0	126.9	104.7	102.0	102.1	102.1 ~106.7	102.4 ~109.6	102.4 ~109.6
硫 安	E	西 独	126.2	118.4	118.2	115.1	119.6	118.5	118.5	118.5
苛 性 ソーダ	M	英 国	179.1	136.9	134.1	134.1	146.2	148.0	153.6	155.4
レーヨンパルプ	Q	カ ナ ダ	123.4	116.8	115.4	115.4	115.4	111.0	111.0	109.5 ~111.0
大 豆 原 油	M	米 国	121.0	182.9	175.0	185.3	164.4	150.3	135.0	129.2
生 ゴ ム	M	シンガポール	115.1	115.0	113.7	110.9	100.0	105.3	106.2	103.4
原 皮	M	米 国	172.3	149.4	162.8	138.9	136.3	158.6 ~153.1	134.5	125.3 ~121.7
卸売物価指数	{	英 国	141.0	136.0	133.7	133.4	134.2	134.2	134.6	—
		西 独	123.1	116.5	112.5	111.5	109.8	—	—	—
			130.8	126.1	121.3	122.5	121.7	122.5	—	—

解 説

3月中の海外主要商品相場は、生ゴム、錫、砂糖等一部に軟化したものもあつたが、小麦、大豆油、皮革、綿花、鉄鋼等は騰貴し、また、年初来前月まで軟調を示した屑鉄も再び反騰に転ずる等総じて堅調な推移を辿つた。

一方わが国でも、鉄鋼、皮革、ゴムは弱含み乃至低落を示したが、繊維は堅調に推移し就中非鉄は銅中心に急騰を演じ、卸売物価指数も月中0.3%方続騰した。このように内外市況とも、堅調に推移したため、国際比価関係も大勢的には格別の変化はみられなかつた。

次に主要商品別に内外価格の動きを概観すると以下の通りである。

(1) 繊維 わが国繊維市況は、人絹糸が中共をはじめとする輸出引合の漸増傾向、一部仕手筋の強引な買進み等のため、前月末比18%高の著騰を示したほか、綿糸も既契約の船積み進捗、国内機屋筋の夏物手当活潑化等から堅調裡に推移し、その他繊維もこれに追隨して上伸、全般に堅調商状を呈した。

一方海外価格も香港綿糸布、英国綿糸等が微騰を示したものの、その他は保合と大勢は強保合に推移したため、国際比価関係は総体的に割安の幅を縮小した。特に従来英国に対し割安であつたわが国人絹糸が、逆に割高となつたのが注目される。

(2) 鉄鋼 海外市況は当月に入り一段と強調を示している。先ず、米国では自動車の減産が伝えられているにもかかわらず、来る6月末の労働協約改訂などを見越した買急ぎ傾向が強く、メーカーはますます増産に迫られている状況で、製鋼操業率も100%に達している。このため、年初

来軟化した屑鉄相場は3月に入り9.8%方の急騰、輸出価格も殆ど全品種に亘りトン当たり0.4~0.6ドルの騰貴を示すに至つている。また英国も国内需要が依然活潑で鉄鋼の入超がつづいている。一方シェーマン・プラン加盟国でもルクセンブルグが国内価格を値上げしたほか、前月やや軟化した輸出実勢価格も再び上げ歩調に転じている。

かかる海外市況の強調を映じ、わが国市況も月末には底入れ模様を呈したが、月中を通じてみれば国内価格、輸出価格とも値下りしたものが多し。このため国際比価関係は前月に引続き僅かながら改善された。

(3) 非鉄金属 海外市況は、前月電気銅の一斉高(米国建値7%上昇)をはじめとして、鉛、亜鉛、錫とも一様に値上りした後だけに、当月はさすがに電気銅が反落、つれて鉛、亜鉛も下押す等軟調模様を示した。尤も需要は引続き活潑で、軟化とはいへ上げ過ぎは正の域を出ておらず、この間米国のアルミニウムの如きは却つて6.1%の騰貴を示した。

一方わが国市況は、電気銅が月末に至り市中相場が若干高値訂正の動きをみせたといふものの、引続き内需旺盛、故銅の輸入不円滑、全鉱連スト等から前月比相場は急騰を演じた。この外アルミニウムも堅調裡に推移、鉛、亜鉛も保合ながら底固い動きを示した。このため国際比価関係は電気銅が一段と割高となつたのが目立ち、また鉛、亜鉛も海外が軟化したため悪化した。

(4) その他 苛性ソーダはわが国が原塩の値上りを主因に騰貴したのに対し、海外は保合つたため割高関係を強め、一方セメント、原皮、大豆原油はわが国の値下りに対し、海外は保合乃至微騰したため割高の幅は縮小した。なお、生ゴムは内外とも軟化したため、比価関係には従来と殆ど変化はみられない。